

使い捨てプラのこともみんな考えてみた



魔法瓶で有名な
象印マホービンが進める
マイボトル活動！



象印マホービンって？



実は2006年からマイボトルライフ
を楽しめる取り組みを進めているんです

実は2006年には、まだマイボトルという言葉はなかったんだそう。
マイボトルを通して豊かな「暮らしをつくる」ことを目指しています。

マイボトルを販売していることはもちろん知っている
けど、他の取り組みについても聞いてみました！

象印マホービンの取り組みを聞いてみた！



取り組みその1

まさに「給茶スポット」を！

「給茶スポット」とは、自分のマイボトルを
持って行くと、お店のこだわりの飲み物を
入れてもらえるスポットのことです！
お店やカフェと連携して全国に急茶スポッ
トを広げているんです。

Bring Your Own



給茶スポット
Supported by ZOJIRUSHI

「給茶スポット」として紹介してる加盟店は、
個人経営のお店が多いんです。
給茶スポットとして紹介することで、地域のお店を
応援する活動にもなっているんだそうです！

名古屋市内の給茶スポット

名古屋市には2店舗が
給茶スポットとして紹介されています！

■ ティーパーティー

名古屋市東区泉 1丁目18-1

■ 玉露軒 ヨシツヤ名古屋名西店

名古屋市西区名西 2丁目33-8 イッツボナンザシティ
ヨシツヤ名古屋名西店1F

わたしもマイボトルを持って訪れたいです！

象印マホービンの取り組みは他にも!

取り組みその2

社内のペットボトルをゼロに

2019年から、社内でのペットボトルの使用を全面的に禁止。社内の自販機からペットボトル飲料をなくして、代わりに給水器を設置することで、マイボトルを使いやすいように社内環境を整備しました。



取り組みその3

マイボトルをロッカーで受け取り

2022年から、スマホでオーダーしてマイボトルをロッカーで受け取れる『ZOJIRUSHI MY BOTTLE CLOAK』の実証実験を開始しました! 利用後は店舗で洗浄・保管してくれるんです。

※現在は名古屋市には設置がありません



マイボトルの取り組みはどのように始まったの?

マイボトルライフを楽しんでほしい!

マイボトルには、3つの手間があると考えています。

- ①準備する手間 ②持ち運ぶ手間 ③洗わないといけない手間

象印マホービンは、様々な取り組みを通して、この3つの手間をできるだけ解決できるように支援しているんです。



「シームレスせん」シリーズ

洗うことが手間なバッキングが、せんと一体になっています。バッキングを外して洗う必要がないので、お手入れが簡単になり、「洗う手間」を軽減しているんです。

象印マホービンが取り組んでいることまとめ

ペットボトルの削減促進

マイボトルを広めることで、使い捨てペットボトルに頼らないライフスタイルをサポート

マイボトルを使いやすい環境づくり

マイボトルの手間を減らす活動を行い、マイボトルライフを楽しむ支援を進めています

企業からのメッセージ

ぜひ給茶スポットも活用しながら、カフェなどでマイボトルに好きな飲み物を入れてもらってみてください。好きな飲み物を飲むと、リフレッシュにもなります。肩の力を抜いて、暮らしを楽しみながら、結果としてプラも削減できた!となると良いなと思います。

